

もしも…交通事故にあってしまったら？

① 保護者、警察、学校に連絡する

(事故の相手、通りがかりの人などに依頼する)

※ 学校にのみ連絡した場合、学校関連の報告が優先となる為、警察への連絡が一番最後となり、交通事故の対応が遅れてしまいます。

通報は**必ず警察と学校の両方**にしましょう。



② 必要であれば救急車を呼ぶ

※ 外傷がない場合でも、頭やお腹を強く打っている場合は時間差で症状が出る場合があります。衝突部位や状況に応じ、救急車を要請しましょう。

日頃から指導しておくことは？

◆ 自分の氏名や保護者の氏名、連絡先(自宅の電話番号など)を相手に伝えられるように指導しましょう。

◆ 交通事故に遭っても逃げないように指導しましょう。

※ 小学生の場合【交通事故に遭う=悪いこと】という発想で、事故に遭うなり逃げ出すことがあります。「交通事故に遭うことが悪いのではない」ということを指導しましょう。

◆ 怪我がある場合でも**事故の相手の車には絶対に乗らない**ように、現場に人を呼ぶように指導しましょう。



通報はどちらが早い？

時折、「交通事故や事件で来てもらうとき、警察署や交番と110番、どちらが早いのか？」という質問を受けることがありますが、110番の方が早いです。

110番にかけると、つながる先は**秋田市にある秋田県警察本部通信指令室**です。「秋田につながるんじゃ凄く遠回りなんじゃないの？」と思われるかもしれませんが、一番効率の良い順番で何が起きたのか、現場はどこか、通報しているあなたは誰？などの聞き取りを行いながら、同時進行で管轄する警察署へ無線で指示を出し、その指令を聞いていた最寄りの交番や駐在所から警察官が出動します。(パトロール中のパトカーが向かう場合もあります)

110番とは特に緊急時に効果を発揮する、とても効率の良いシステムなのです！

110番にかける時は、かなりの緊急事態だと思います。それでも、焦らず、慌てず、怒らず、聞き取りを行う系の質問に答えて下さい。**警察が現場に早く到着するために必要な事**なのです。

なお、**110番は緊急用の回線**なので、相談や問い合わせ、緊急と言う程ではないけれど事件・事故の届出をしたい…と言うときは、最寄りの警察署や交番・駐在所に電話にしてください。